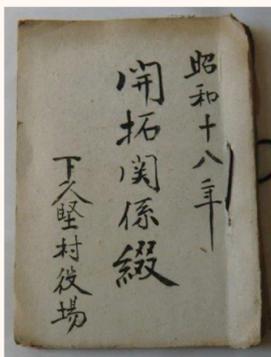




平成27年度文化庁文化芸術振興費補助金（文化遺産を活かした地域活性化事業）

旧下久堅支所行政文書調査が終了しました

飯田市歴史研究所では、下久堅まちづくり委員会よりご提案をいただき、2015（平成27）年7月から10月にかけて、旧下久堅支所の土蔵に保存されてきた役場資料の整理に取り組みました。近年、公文書保存の意義は徐々に認知されてきましたが、地域に残る過去の記録が十分に整理されているとはいえません。このたび目録が完成し、資料の概要が明らかにできましたので報告します。



「満州下久堅分村建設計画」等
地元の開拓の歴史を伝える資料

本資料は、明治8年の久堅村成立前後から町村合併を経た昭和の後期まで、合計5,256点、資料保存用の段ボール箱に換算して255箱からなる大量の資料です。

内容について、一部をご紹介します。明治22年の町村制の実施以前から議会が設置され、議事の記録（「事件簿」）が残されています。また他には、農地改革関係を中心とする農業関係資料が大量に残っています。敗戦後、公民館事業で産業振興や観光客誘致に取り組んだ歩みなど、さまざまな試行錯誤と努力の結果として現在の地域があることを知ることができます。



まちづくり委員会での報告会の様子(10月20日)
歴史研究所調査研究員・大阪大学文学部 安岡健一氏

これらの資料はただ自然に残ったのではなく、選別されて残ったものです。本資料中には戦時中の資料はほとんど存在しません。戦争が終わった後、まとめて処分されたと考えられます。整理の過程で1943（昭和18）年の満州開拓関係の記録がみつき、当時の分村計画を知ることができました。

歴史研究所では、飯田・下伊那地域に残る貴重な役場資料を今後とも整理させていただき、有効活用の基盤にしていきます。



下久堅自治振興センターの蔵の中



蔵から一部づつ運びだし一点ごと溜った埃を取ります

歴研の調査研究活動 - 史料調査の現場から -

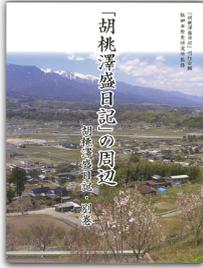
飯田市歴史研究所では、地域における貴重な歴史的資料等を調査・研究し、その成果を市民の皆様へ講座や出版などの様々な活動を通じて還元していくことを目指しています。そうした活動を行う上では、市民の皆様からお借りしたり、ご寄贈やご寄託を受けた史料を整理し、その目録（史料の点数や内容などをリスト化したもの）を作成し、あるいは史料が傷まないように保存処置をする、史料を利用しやすいように写真の撮影などを行うといった作業が必要となってきます。



そうした作業を行うスタッフは、歴史研究所で現在3名が勤務しております。1人は目録の作成を担当し、それ以外の写真撮影やデジタルデータの作成、史料の保存処置などを他の2名が行っています。こうした作業は調査研究を進める上で基礎となる重要なもので、史料整理を行うスタッフの活躍によって、歴史研究所の活動が支えられているのです。



報告 全六巻完結記念会『胡桃澤盛日記』を語る



「胡桃澤盛日記」刊行会の主催、飯田市歴史研究所の共催で記念会を9月20日豊丘村学習交流センターで開催しました。平成25年末に『胡桃澤盛日記』全6巻が完結し、この8月に『胡桃澤盛日記』の周辺が刊行されました。これにより刊行事業が終結したことを記念して、読者や地域の皆さんと「日記」について語りあうということを目的にして開催されたものです。当日は210名余の皆さんの参加を得て、盛会となりました。

東京大学大学院教授の加藤陽子さんが「地域に生きる人々の持つ力—戦後を遠く離れて」と題して基調講演を行いました。

農村の文学青年としての時代、昭和恐慌下での自己認識の変容過程を経て、戦時下の農村指導者となっていく時代、戦後期の農業と読書に回帰していく時代と、円環構造として『盛日記』を読む視点が示されました。盛の戦後の悔恨と重ねて、「戦争の反対語とは歴史を読むこと、自国の敗けた歴史を読む人々がいること」が強調されました。誰も果たすことができない政治課題が農村に要求されていた戦争の時代の「悲劇性」が『盛日記』には記されており、その歴史を現代の私たちが読みとり、伝えていくことが平和の創造につながっていくことを提起しました。

ディスカッションでは、長野高校の小川幸司さんが『盛日記』を対象に世界史的視野と結び付けて地域史を教材化する授業モデルを提案し、過去に生きた人間の「いのち」の軌跡に向き合うことで、「問いの連鎖を」行えるような歴史意識を育む歴史教育の課題を提起しました。豊丘村教育長の寺澤宜勝さんは胡桃澤家の近隣の旧橋本屋の生まれで、村落の人々の生活史が活写され、自然との関りが詩情に満ちた文章で叙述されている『盛日記』の魅力を語りました。盛の末娘の胡桃澤美智子さんは『盛日記』をとおして父親像を追想し、地域の人々の結びつきや、女性の視点から家族や子育てへの関心も語りました。



「胡桃澤盛日記」刊行会会長
歴史研究所調査研究員 田中雅孝氏



講演「地域に生きる人々の持つ力—戦後を遠く離れて—」
東京大学大学院教授 加藤陽子氏



ディスカッションの様子



フロアからは、「地方消滅」ともいれる時代の地域課題や安保関連法をめぐって、戦争の時代と同じ発想が繰り返されているのではないかという意見。戦争に反対できなかったのは組織の論理にとらわれ、個人の立場から意見表明することができなかったからだが、現在は個人として考え行動できる人が育っているかという心もとない、『盛日記』を読むことで考えていきたいという意見。高校生は歴史をどのように学んでいるのかと、教育に地域の将来への希望をこめた意見などが交流されました。

(調査研究員 田中 雅孝)

阿南病院祭における建築史ゼミ成果展示

10月31日、天竜川の畔、阿南町御供地区にある県立阿南病院にて南宮祭が開催され、病院関係者や地域住民による展示や出店で賑わいました。わが町の建築史ゼミでは、7月から御供地区の空き家を題材に取り組んできた地域の成り立ちや移り変わる街並みについての調査結果を阿南町の地域おこし協力隊員の協力を得て病院内に展示しました。



御供地区一帯の天竜川流域は、両岸の斜面が際立った明媚な地形からかつては南宮峡と呼ばれ水運の要所として栄え、また川中の島を結んだ吊り橋によって対岸の泰阜村と結ばれて現在の国道が整備される以前は、バス街道としても賑わいを見せていました。現在は空き家が目立つ通りになっていますが、戦時中に現在の阿南病院の前身である千葉大学附属病院が疎開していたこともあり、当時の華やかさを感じられる街並みを残しています。わが町の建築史ゼミでは、地域の方に御供の街並みの歴史を知って大切にしてもらおうと、通りの中心に位置する商店等を調査して、建物の特徴を伝えるとともに、活用の提案を行いました。

飯田市歴史研究所・科学研究費補助事業「日本近世山里社会の存立条件に関する基礎的研究」
(代表東京外国語大学吉田ゆり子) 共催

遠山の歴史を学ぶ勉強会

12月20日 日 13:30~15:30

会場：南信濃自治振興センター (飯田市南信濃和田2596-3)

参加費：無料

報告者：多和田 雅保(横浜国立大学)
「明治30年代における飯田・遠山和田間の商人の交流」
吉田 ゆり子(東京外国語大学)
「近世遠山集落の形成過程」 ほか

※ 多くの方のご参加をお待ちしています。

定例研究会

開催日：2月6日 土

「松島自由移民の募集と送出」

下伊那から1400人余が参加した自由移民の募集と送出について検証したいと思います。

報告者：本島 和人 (調査研究員)

時間：14:00~16:00

場所：飯田市歴史研究所 研修室

※定例研究会はすべて公開で行っています。
どなたでもご参加いただけます。

飯田アカデミア 第76講座

近世の富士信仰と女性

3月12日 土 第1講 10:00~11:30
第2講 13:00~14:30

第1講 「富士信仰の発展 ー富士講と不二道ー」

第2講 「不二道における女性の活躍
ー飯田の松下千代を中心にー」

講師 梅澤(宮崎) ふみ子さん (恵泉女学園大学名誉教授)

会場 上郷公民館 (飯田市上郷飯沼3092-9)

受講料 500円 (資料代)

※1講義のみでもご参加いただけます。受講をご希望の方は歴史研究所までお申し込みください。

地域史講座

上飯田村羽場組の相互扶助 ー村金貸付から和合相続金へー

寛政期に作られた羽場組の村備金「和合相続金」は、大正期まで130年ほど続きました。その相互扶助のしくみや運用の実際について明らかにしていきます。

開催日：2月20日 土

時間：14:00~15:30

講師：伊坪 達郎 (調査研究員)

会場：羽場公民館 (飯田市羽場町2丁目14-9)

ワークショップ

飯田・下伊那の領主たちと地域社会

12月12日 土 13:30~16:00

会場：飯田市歴史研究所 研修室

参加費：無料

報告：千葉 拓真 (研究員)
「17世紀後半における飯田藩と交代寄合信濃衆
ー「飯田御用覚書」の分析からー」

コメント：今村 直樹 (静岡大学人文社会学部准教授)

※どなたでもご参加いただけますので、お気軽にお越しください。

飯田・下伊那を支配した領主たちについては、飯田藩主であった堀氏をはじめ、これまで種々の研究などで言及されてきましたが、未だ飯田藩や同藩と近接する諸藩、伊豆木の小笠原氏などの交代寄合衆、さらに幕領の代官などとの関係は不明な点が多いのが実情です。

本ワークショップでは、飯田・下伊那地域をフィールドに、領主による地域支配、および彼らが構築したネットワークの構造を、地域社会の動向と絡めて解明することを目指します。

歴史資料展示コーナー 旧飯田市公民館設計図面

昨年7月、現在の中央公民館地階の史料室において、昭和28年3月18日に作図製本された『飯田市公民館建築設計図(現中央公民館)』が確認され、歴史研究所が保管することになりました。旧飯田市公民館は、鉄筋コンクリート造によるパラボナアーチ構造のホールやピロティ空間を持った、当時の日本のモダニズム建築の特徴を顕著に示す建物で、伊那谷においては類を見ない独創的な建物でした。建設当時は、広報誌や新聞にとりあげられましたが、竣工後20年余で取り壊され、現在は建物の実態を伝える史料が他にないことから設計図は貴重な資料となっています。

本展示では、青焼き 図面を展示するとともに、昭和29年の旧飯田市公民館を表紙として発行された復興祭パンフレットや、設計図面の解説を展示し、かつての飯田のシンボルになった文化施設の面影を伝えます。



『復興飯田』表紙1954年



飯田市公民館建築設計図の表紙

受講生募集

スタッフとともに
歴史を学んでみませんか。
場所：歴史研究所 研修室

近世史ゼミ

12月1日・15日
1月12日・19日
19：00～20：40
担当：千葉拓真（研究員）

近現代史ゼミ

12月12日
1月9日・23日
13：30～15：00
担当：田中雅孝（調査研究員）

思想史ワークショップ

12月2日・16日
1月6日・20日
19：00～20：40
市民の皆さんが自主的に学び合う場

わが町の建築史ゼミ

12月10日
1月14日
18：30～20：00
担当：樋口貴彦（研究員）

自分史ゼミ

12月26日
1月23日
13：30～15：00
担当：安岡健一（調査研究員）

満州移民研究ゼミ

第55回 12月12日
第56回 1月9日
10：00～11：40
担当：本島和人（調査研究員）

古文書入門講座

第7回 12月12日・19日
第8回 1月9日・23日
10：00～11：30
担当：伊坪達郎（調査研究員）

ゼミ・ワークショップの詳細につきましては、歴史研究所までお問い合わせください。TEL：0265-53-4670

歴史研究所催事スケジュール

2015年 12月

2016年 1月

NL79発行／近世史ゼミ	火	1		金
思想史ワークショップ	水	2		土
	木	3		日
	金	4		月
	土	5		火
	日	6	思想史ワークショップ	水
	月	7		木
	火	8		金
	水	9	近現代史ゼミ／満州移民研究ゼミ 古文書入門講座	土
わが町の建築史ゼミ	木	10		日
	金	11		月
近現代史ゼミ／古文書入門講座 満州移民研究ゼミ	土	12	近世史ゼミ	火
	日	13		水
	月	14	わが町の建築史ゼミ	木
近世史ゼミ	火	15		金
思想史ワークショップ	水	16		土
	木	17		日
	金	18		月
古文書入門講座	土	19	近世史ゼミ	火
	日	20	思想史ワークショップ	水
	月	21		木
	火	22		金
	水	23	近現代史ゼミ／自分史ゼミ 古文書入門講座	土
	木	24		日
	金	25		月
自分史ゼミ	土	26		火
	日	27		水
	月	28		木
	火	29		金
	水	30		土
	木	31		日

開所時間：午前9時～午後5時
休所日：日曜日・月曜日・祝日・12月29日～1月3日

休所日 休所日
開所日 開所日

歴研日誌

10月

- 1日…歴研ニュース 78号発行
- 3日…オーラル編集委員会
- 3日…満州移民研究ゼミ第53回「評論国策満州農業移民」
- 6日…歴史に学び地域をたずねる会 座光寺地区資料整理（麻積史料館）
- 6日…近世史ゼミ「郡方覚書をよむ」
- 7日…思想史ワークショップ「三酔人経綸問答⑨」
- 8日…わが町の建築史ゼミ
- 10日…古文書入門講座第5回「村送り証文・寺送り証文を読む」
- 10日…近現代史ゼミ「胡桃澤盛日記と南信新聞」
- 14日…松尾支所文書調査（千葉研究員・伊坪調査研究員）
- 20日…近世史ゼミ「郡方覚書をよむ」
- 20日…歴史に学び地域をたずねる会 座光寺地区資料整理（麻積史料館）
- 21日…思想史ワークショップ「三酔人経綸問答⑩」
- 24日…古文書入門講座第5回「村送り証文・寺送り証文を読む」
- 24日…自分史ゼミ第6回
- 27-29日…竜峡中学校2年生 職業体験受け入れ
- 28日…オーラル編集委員会
- 29日…わが町の建築史ゼミ
- 29日…信州地域史料アーカイブ専門委員会（伊坪調査研究員）（松本文書館）
- 31日…定例研究会「山村の集落景観に見る木材利用
—遠山谷の山間集落を事例に—」（樋口研究員）

11月

- 4日…思想史ワークショップ「三酔人経綸問答⑪」
- 4日…歴史に学び地域をたずねる会 座光寺地区資料整理（麻積史料館）
- 5日…飯田市馬場町 宮原弥生家史料整理（伊坪調査研究員）
- 7日…満州移民研究ゼミ第54回「満洲紀行綴込資料について」
- 10日…大鹿村大河原松下家文書調査（伊坪調査研究員）
- 12日…わが町の建築史ゼミ
- 12日…オーラル編集委員会
- 14日…古文書入門講座第6回「借用証文を読む」
- 14日…近現代史ゼミ「昭和3年7月8月の胡桃澤盛日記と南信新聞」
- 16日…旧鼎支所行政文書整理を始める
- 17日…歴史に学び地域をたずねる会 座光寺地区資料整理（麻積史料館）
- 18日…思想史ワークショップ
- 21日…定例研究会「上飯田村羽場組の相互扶助
—村金貸付から和合相続金へ—」（伊坪調査研究員）
- 24日…近世史ゼミ「郡方覚書をよむ」
- 25日…オーラル編集委員会
- 28日…近現代史ゼミ「松尾の防空体制」
- 28日…自分史ゼミ第7回
- 28日…古文書入門講座第6回「借用証文を読む」
- 28日…地域史講座「山村の集落と木材利用」（樋口研究員）（南信濃公民館）